

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公表番号】特表2010-509082(P2010-509082A)

【公表日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-536223(P2009-536223)

【国際特許分類】

B 2 3 B 31/10 (2006.01)

B 2 3 B 31/02 (2006.01)

【F I】

B 2 3 B 31/10 B

B 2 3 B 31/02 6 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月27日(2010.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内周面およびテープ付き内端部を有するタイヤカーカスに係合するチャックシステムにおいて、

それぞれが軸線の周りに画定される一定直径の周方向の外表面を有する第1チャックおよび第2チャックを備え、

前記第1および第2のチャックは、互いに同軸状に取り付け、また収縮した状態と拡張した状態との間で相対的に軸線方向に移動可能にし、

各チャックは、前記一定直径の周方向の外面から半径方向外方に突出して前記タイヤカーカスの前記内周面に係合する複数個の摩擦低減部材を有し、前記摩擦低減部材は、前記各チャックの前記外面に対して回転可能とし、これにより、前記チャックと前記タイヤカーカスとの間における摩擦を、前記タイヤカーカスに対する前記チャックの一方または双方の軸線方向相対移動中に低減する構成とした、

チャックシステム。

【請求項2】

請求項1に記載のチャックシステムにおいて、前記第1および第2のチャックは、第1テープ部および第2テープ部をそれぞれ有し、前記第1および第2のテープ部は、前記チャックが拡張した状態にあるとき前記タイヤカーカスの前記テープ付き内端部に係合するよう、互いに軸線方向逆向きのテープが付いた構成とした、チャックシステム。

【請求項3】

請求項2に記載のチャックシステムにおいて、前記テープ部は、各チャックにおける前記一定直径の周方向の外面よりも小さい最大直径を有し、各チャックには前記外面と前記テープ部との間における肩部を有する構成とした、チャックシステム。

【請求項4】

請求項1に記載のチャックシステムにおいて、各チャックの前記複数個の摩擦低減部材は、互いに周方向に等間隔で配置した、チャックシステム。

【請求項5】

請求項1に記載のチャックシステムにおいて、前記摩擦低減部材は、前記軸線にほぼ直

交する方向に前記チャックの外面から突出する構成とした、チャックシステム。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のチャックシステムにおいて、前記摩擦低減部材は、樽型ローラー、搬送ボール、オムニローラー、ボールベアリング、ばね負荷ボール、およびこれらの組み合わせよりなるグループから選択した、チャックシステム。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のチャックシステムにおいて、各チャックの一定直径の外面を円筒表面とした、チャックシステム。